

# 議会 だより



第 **68** 号

令和3年9月1日  
編集／議会だより編集委員会  
発行／古河市議会  
[ホームページ](#)

古河市議会

検索



新型コロナウイルス感染症収束の願いを込めて...

## 令和3年第2回定例会開催

第2回定例会は6月8日から6月18日までの会期11日間で開かれ、認定5件、報告7件、議案27件について審議しました。一般質問は6月15日、16日に行われ9名の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案1件が追加されました。請願3件、陳情1件については、4ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。本定例会から、タブレットによるペーパーレス議会の本格的な運用が開始となりました。議案等の資料は、原則、当初予算書ならびに決算書を除き、紙資料の配布を行わず、タブレット端末へのデータでの提供となりました。

6月定例会最終日に

## 議長・副議長がかわりました

## 就任あいさつ



議長 鈴木 隆



副議長 赤坂 育男

市民の皆さまには、日ごろより市議会活動ならびに市政各般にわたり、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

このたび私たちは、議員多数のご推挙により、議長ならびに副議長に就任いたしました。

改めて、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、市民生活や地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような中で、市議会としては、市民の皆さまの負託と期待に応え、市民福祉の向上や地域社会の活性化を考えながら、未来に誇れる古河市づくりのために鋭意努力していく所存であります。

今後とも、皆さまのご指導とご支援をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

## 委員会構成がかわりました

◎：委員長 ○：副委員長

名称	人数	委員名
総務常任委員会	9人	◎ 大島 信夫 ○ 鶴見久美子 古川 一美 阿久津佳子 高橋 秀彰 落合 康之 青木 和夫 鈴木 隆 園部 増治
文教厚生常任委員会	8人	◎ 佐藤 稔 ○ 小森谷博之 小山 高正 秋庭 繁 佐藤 泉 長浜 音一 赤坂 育男 倉持 健一
産業建設常任委員会	7人	◎ 稲葉 貴大 ○ 鈴木 務 生沼 繁 渡辺 松男 増田 悟 渡邊 澄夫 黒川 輝男
議会運営委員会	6人	◎ 渡邊 澄夫 ○ 青木 和夫 阿久津佳子 大島 信夫 佐藤 稔 生沼 繁
議会だより編集委員会	6人	◎ 小森谷博之 ○ 鶴見久美子 鈴木 務 稲葉 貴大 落合 康之 増田 悟

## 令和 3 年第 2 回定例会 議決一覧表

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
認定第 4 号	令和 2 年度古河市一般会計補正予算（第 19 号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.6.8	承 認
認定第 5 号	古河市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.6.8	承 認
認定第 6 号	古河市税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.6.8	承 認
認定第 7 号	古河市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.6.8	承 認
認定第 8 号	令和 3 年度古河市一般会計補正予算（第 1 号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	3.6.8	承 認
議案第 56 号 から 議案第 74 号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	3.6.8	同 意
議案第 75 号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	3.6.18	原案可決
議案第 76 号	古河市税条例の一部改正について	3.6.18	原案可決
議案第 77 号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	3.6.18	原案可決
議案第 78 号	財産の取得について	3.6.18	原案可決
議案第 79 号	財産の取得について	3.6.18	原案可決
議案第 80 号	市道の路線認定について	3.6.18	原案可決
議案第 81 号	令和 3 年度古河市一般会計補正予算（第 2 号）	3.6.18	原案可決
議案第 82 号	令和 3 年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 1 号）	3.6.18	原案可決
議員提出 議案第 3 号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書	3.6.18	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件



## この人に決まりました！

## ～茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員～

令和 3 年 6 月 20 日に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期が満了となるため、定例会最終日に選挙が行われ、次の議員が選出されました。

黒川 輝男 議員

## 請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和3年 請願第2号	「安心安全な教育環境のための少人数学級を求める意見書」採択の請願	文教厚生常任委員会	不採択
令和3年 請願第5号	太陽光発電設備設置事業者の条例違背についての調査及び対応に関する請願	総務常任委員会	不採択
令和3年 請願第6号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	産業建設常任委員会	採 択
令和3年 陳情第1号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める陳情	文教厚生常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

## 賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市 公明党				真政会				市民ベースの会					無党派					
	渡邊 澄夫	佐藤 泉	大島 信夫	鈴木 務	小森谷博之	鈴木 隆	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	渡辺 松男	黒川 輝男	赤坂 育男	青木 和夫	稲葉 貴大	園部 増治	落合 康之	増田 悟	倉持 健一	阿久津佳子	長浜 音一	生沼 繁	小山 高正	古川 一美	秋庭 繁
議案第81号			○					○			○			-	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×
令和3年 請願第2号			×					×			×			-				○				×	×	○
令和3年 請願第5号			×					×			×			-				×				○	○	×
令和3年 陳情第1号			×					×			×			-	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

第2回  
定例会

## 一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月15日、16日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



高橋 秀彰 議員

## 人生100年時代の高齢者施策について

**問** 本市では、高齢者の体力維持等フレイル<sup>(※)</sup>予防について、どのような取り組みで健康長寿につながっているのか伺う。また、コロナ禍における高齢者の生活実態調査等による現状把握は、今後の高齢者の健康寿命の延伸に向け重要と考えるがどうか。

次に、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、面接制限が行われている市内の高齢者施設等において、オンラインの活用

※フレイル…加齢により心身が衰えた状態

は高齢者の心身の健康につながる。オンライン化への市の支援の在り方等を伺う。さらに、人生100年時代を見据え、シニア層の働く意欲に応える多様な就労支援や、より充実した人生を送るため、リカレント教育<sup>(※)</sup>等も含めた生涯学習への支援等、今後の高齢者施策の推進について伺う。

**答（健康推進部長）** フレイル予防のため健康相談、介護予防教室等を行っている。コロナ禍で外出できない高齢者のため、シルバーリハビリ体操の動画を市ホームページに掲載した。また、介護予防教室等終了後の自主化支援も行っている。

**答（福祉部長）** 高齢者実態調査ではコロナ禍での環境変化で、

※リカレント教育…学校教育を終えた人が再び学ぶこと

困り事が増加していることを受け止め、今後の施策に取り組んでいきたい。高齢者施設等のオンライン活用は、県の基金等を活用した事業を積極的に案内していきたい。高齢者の就労支援は、経験や知識を生かせるよう関係機関と連携し支援を行っていきたい。

**答（教育部長）** 変化する学びのニーズに応えるため、リカレント教育の概念を含めた各種講座を関係機関の意見を聞きながら提供していきたい。





佐藤 稔 議員

## ヤングケアラーの支援について

**問** 国の全国調査結果から、中学2年生の17人に1人(約5.7%)、高校2年生で24人に1人(約4.1%)が、世話をする家族が居るとい実態と、その4割近くの生徒が自分をヤングケアラーと自覚していないという深刻な問題がある。市として小さな声なき声をキャッチし、支援していくための仕組みづくりが必要と考えるが、市の考えを伺う。

	調査数 (n=)	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことはない	無回答
中学2年生	5,558	6.3	8.8	84.2	0.6
全日制高校2年生	7,407	5.7	6.9	86.8	0.6
定時制高校2年生相当	366	6.0	7.7	85.5	0.8
通信制高校生	446	8.1	7.8	83.9	0.2

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計

ヤングケアラーの認知度  
(令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業  
ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書より)

**答 (市長)** ヤングケアラーという状況に置かれている子どもたちを把握し、早期発見、早期支援のための体制づくりの強化が重要だと考える。

**答 (福祉部長)** さまざまな社会資源をフル活用し、ヤングケアラー本人に必要な支援を届けられるよう対策を講じる。

**答 (教育部長)** 研修を実施し、ヤングケアラーの認知度を高め、

福祉関係部署との情報共有、連携の仕組みづくりを検討する。

## 養育費不払いに対する支援策について

**問** 一人親世帯の貧困の要因とも指摘されている養育費不払い問題と、その現状把握や支払いを促す支援策について、早急な市独自の支援制度の導入を提案するが、市の考えを伺う。

**答 (福祉部長)** 子ども福祉課で年1回養育費の聞き取りを行っており、相談者へは一般的な養育費制度の説明や、弁護士への相談、市の法律相談を案内するなどのアドバイスを行っている。今後はアンケートを実施し、現状を把握しつつ必要な支援を検討していく。



阿久津 佳子 議員

## 市民サービス向上について

**問** ①障がい児・者支援について、2022年4月民法改正、成人年齢18歳引き下げ(親権が無くなる)に際し、行政サービスとして当事者に役立つ情報(親権においてできることの事例等)を提示することが有益と考えるが所見を伺う。②ライフステージごとの一連のガイダンス(手引書)は、行政からの情報を容易に入手する手段として市民にとって有益と考えるが所見を伺

う。③成年後見制度は、事理弁識能力<sup>(※)</sup>のない高齢者、知的や精神障がい者等とその家族にとり、さまざまな課題がある(高額な後見人報酬や行政手続き、社会生活に支障がでる等)。その一助として、市民後見人養成が有効と考えるが所見を伺う。

**答 (市長)** ②市民の視点に立ったライフステージごとのガイダンスについては、さまざまな課題を整理しながら、今後も検討していきたい。

**答 (福祉部長)** ①障害福祉サービスは、18歳以上は障害者総合支援法により利用できるため、成人年齢引き下げにも影響がない。例年実施している県立特別支援学校等への福祉相談や、それ以外の対象児についてもサー

ビス更新時期などの機会を捉えて周知していく。また、相談支援専門員と連携しながら途切れのない支援を行う。②市民ライフステージのガイダンスとして一連の流れになる手法を検討する。③市民後見人の育成制度については社会福祉協議会に委託し、市民後見人養成講座を実施、今までに28名が講座を修了し、研修や実務経験を積んでいる。



一般社団法人  
日本相続知財センター本部発行

※事理弁識能力…物事の実態や考えられる結果などについて理解し、自ら有効な意思表示ができる能力



生沼 繁 議員

### 企業版ふるさと納税について

**問** ①この制度は民間資金の流れを巻き起こし、地方創生の取り組みを深化させる目的である。市の地方再生計画について伺う。②既存の貴重な歴史的建造物を整備し、新たな観光資源として活用すると、地域活性化や交流人口の拡大となる。この趣旨として、市・茨城県古民家再生協会・ホームアウェイ(株)・楽天LIFULL STAY(株)と平成30年に4者協定を締結した

が、その後の状況について伺う。③寄付金を活用したまちづくりについて、新たな財源としての具体的な考えを伺う。今年度から令和6年度までが寄付金の募集期間であるが、市内には多くの企業が稼働している。協力や呼びかけについて伺う。

**答(市長)** ③市の将来を見据えた企画提案と私自身がトップセールスを行いながら、企業版ふるさと納税に賛同いただけるよう取り組む。

**答(企画政策部長)** ①古河市まち・ひと・しごと創生推進計画を策定し、本年3月に内閣府の認定を受けた。計画内容は、地域の特性を生かし、安定した雇用・新しい人の流れを創出し、若者の未来を創生するものであ

る。②コロナ禍の影響もあり、1年を通じた古民家の有効利用には至っていない。③寄付をする企業側の視点を考慮し、魅力ある寄付金充当事業の設定に取り組んでいる。

**答(産業部長)** ②コロナ禍により、蔵のイベント活用の要望はなかった。現在、民間活用も視野に入れ、まちの活性化につながる利活用を検討している。



落合 康之 議員

### データ拠点計画について

**問** 政府は成長戦略として地方にもデータ拠点を進める方針のようである。担当省庁は経済産業省という事もあり、副市長にご説明をいただきたい。

**答(副市長)** 経済産業省では、半導体・デジタル産業戦略を策定し、データセンターの新規拠点整備のため、企業や自治体に対し、国内誘致と最適配置を後押しするものである。データセ

ンターは、複数系統の送電線や通信回線など大量の電力、情報流通インフラ、グリーン電力の利用が課題となっている。市内への誘致は、政府の動向、情報収集に努めていく。

**(再質問)** 非常に心強い答弁をいただいた。電力、通信回線がネックとなるようだが、市にはKDDIの送信所もあり、電力、通信回線においては他の地域よりいくらか順位的には高いと思う。

物流倉庫を誘致するのもいいが、固定資産税の償却資産分で考えたとき、中に入ってくるものが高価であれば高価であるほど市に納める税金も大きく変わってくると思われるので、その点も含みおきいただきながらぜひ

早い時期にお願いしたいと思う。

**答(市長)** データセンターの誘致活動は、現在と将来の見込みを含め、正確な情報収集が重要となる。

**答(副市長)** 情報収集をしているところである。いろいろなルートを活用しながら情報提供に努めていく。



発展の起爆剤、企業誘致

### 《その他の質問》

- ・新型コロナウイルス感染症対応について
- ・高齢者福祉について



長浜 音一 議員

### コロナワクチン接種は順調か

**問** ワクチン接種の現況と課題、今後のワクチン接種スケジュールについて伺う。

**答（健康推進部長）** 高齢者へのワクチン接種は、希望者全員の予約枠を確保した。予約について、インターネットが分かりづらい、コールセンターが繋がらない等の多くの意見を課題と捉え、予約方法を検討する。今後は、基礎疾患のある方、64歳

※フィージビリティスタディー…事業の実行・実現可能性を検証すること

以下の方へと接種を進める。

### 「備えあれば憂いなし」危機管理体制の現状は

**問** 危機管理体制の強化は、平時から危機管理意識を高め、柔軟な組織と人材育成を進めることにある。これまでの災害から得た教訓と課題、それを踏まえた組織の取り組みについて伺う。

**答（総務部長兼危機管理監）** 市ではこれまでの災害の教訓から①情報発信の強化②避難所の見直しおよび機能向上③避難場所の安全確保④災害対策本部体制の強化の課題改善に取り組んでいる。また、平時からの職員研修として、日常の業務を通じて職員のスキルを伸ばすOJTの推進マニュアルを策定している。



### フィージビリティスタディー<sup>(※)</sup>は機能しているか

**問** ①主な政策・事業評価プロセスにおける教訓と課題②フィージビリティスタディーの運用と今後予定される事業への取り組みを伺う。

**答（企画政策部長）** ①事業評価の指標として、活動指標や成果指標を定め、それらが事業成果を凶る物差しとして適切かどうか点検と見直しを行っている。②行政の政策決定ツールとしてなじむものなのか研究したい。



秋庭 繁 議員

### 新型コロナウイルス感染防止とワクチン接種について

**問** 感染防止対策は一定の成果と思うが、感染拡大の中でPCR検査数の把握ができていない。県から感染拡大市町村に指定され、県知事が直接古河市に言及し、PCR検査を駅東口で実施したが、市は適切に対処したのか。また、今後のワクチン接種券の配布方法や電話予約方法の見直しの検討はできるか。

**答（市長）** PCR検査は、県が

希望者に実施した。検査による感染防止効果は不明だが、市民への注意喚起で陽性者は減少していると考えている。接種券の配布は、国でも状況が変化しており、有効な方法で実施したい。

**答（健康推進部長）** 感染防止対策は、消毒液の配布、マスクの提供、医療機関への財政支援、市の施設利用制限等である。

### 古河市自校給食のセンターへの統合計画について

**問** 自校給食をセンターへ統合するに当たり、「調理員が不足し安全・安定供給に不安」とあるが、定員に対する実働と休暇取得状況、労災事故について伺う。また、民間委託での調理員数は何名か。民間委託費用は大幅に高くなるが、市長の見解を伺う。

**答（市長）** 労働環境の改善をしたが、慢性的な調理員不足も、事故の要因の一つになっていたと思われる。安定的な給食の配給のため、民間委託としたい。

**答（教育部長）** 調理員は定員36名に対し32名である。休暇は、業務が空いた時、給食センターの応援や自校方式の中でやりくりし対応していた。労災事故は事実である。民間委託の調理員数は46名を予定している。



廃止予定の自校調理室



小山 高正 議員

### 環境問題について

**問** ①SDGs目標達成に向けた取り組みについて②森林の保護活動の状況③森林伐採の現状と今後の対策について伺う。

**答（市長）** ③面積だけで語らず、古河市の永続的な発展のため、より管理された中で緑を守っていく。

**答（企画政策部長）** ①昨年9月に古河市SDGs推進宣言を行い、職員への研修や古河ロータ

※加配職員…通常より多く配置する職員のこと

リークラブとの共催で市民への普及活動に取り組んでいる。

**答（産業部長）** ②森林湖沼環境税を活用した身近なみどり整備推進事業により、間伐等による森林整備を支援している。③過去5年間の森林消失面積は97ヘクタールで、流通業の進出や太陽光発電施設の開発が要因と考える。

### コロナ禍における教育の在り方について

**問** ①コロナウイルス感染症の濃厚接触者として、自宅待機している児童へのリアルタイム遠隔授業実施の可能性を伺う。

②保育所等での障がい児童受け入れの際の加配職員<sup>(※)</sup>の配置状況とその専門性について伺う。



### ＜その他の質問＞

・市民生活について



古川 一美 議員

### ワクチン接種について

**問** ①64歳以下の接種スケジュールは。②効果と副反応などのリスクを十分理解して接種すべきだが、ワクチンの正確で公正な情報は十分周知されているか。③ワクチン接種は個人の自由である。接種しない人が偏見や差別など不利益を受けてはならないが配慮は十分か。④ワクチンで感染が収束するかは未知数である。最良のワクチンは人間が本来もつ免疫力。感染防

止対策と同時に免疫力を高める方法をPRすべきと考えるがいかがか。



**答（健康推進部長）** ①ワクチン接種は、基礎疾患のある方、64歳以下の方の順に進める。②必要な説明、情報提供は行っている。③ワクチン接種は任意であり、差別が助長されないよう、正しい情報を伝えていく。④ワクチン接種以外にも健康を守るためのPRを積極的に行う。

**答（市民部長）** ③市ホームページや広報紙、ポスター等で新型コロナウイルス感染症に関する

人権への配慮を啓発している。

### アンガーマネジメントについて

**問** アンガーマネジメントは相手を理解し怒りの感情をコントロールするための手法である。教育活動、職員研修、一般市民への活用の考えはあるか。

**答（市長）** 社会を構築する上でとても重要なことだと考えている。さまざまな機会を利用し、職員研修や市民講座等で活用していきたい。

**答（教育部長）** アンガーマネジメントは、教職員研修に取り入れている。児童生徒には各学校に講師を派遣し、対人スキル学習を行っている。市民には講座等で学習機会を提供している。

## ～ 会派の活動を報告します ～

### 政友会

当会派は、6月8日、会派勉強会を開催しました。講師に「助産院みち」の遠藤美千恵氏を迎え、「デジタル時代における子育ての現状と開業助産師による支援」をテーマに講話をいただきました。また、今回は晃陽栄養専門学校助産学科の先生方にも出席いただき、子育て支援の取

り組みについて勉強しました。

子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化し、核家族化や人間関係・地域社会関係の希薄化により、社会全体において子育て力が低下しております。そういったことも少子化の一因にもなっているのではないかと考えています。

政友会では、行政、助産所を含めた専門機関、市民が連携し、安心して出産・子育てができる

環境づくりを推進していきます。



会派勉強会の様子

渡邊 澄夫 佐藤 泉  
大島 信夫 鈴木 務  
小森谷博之 鈴木 隆

### 古河市公明党

古河市公明党は5月21日、業務の効率化や職員の負担軽減などを目指し導入した、紙の申請書を電子化する「A I - O C R」（人工知能による文字認識）と入力作業を自動化する「R P A」（パソコン自動処理）について、担当部局との意見交換を行った。市は2月より両システムの運用

を6課7業務で開始し、作業時間の65%減などの効果が得られた。また、4月に設置された遺族の行政手続きを市役所内1カ所で受け付ける「おくやみサポートコーナー」について、担当部局との意見交換を行った。市の担当者があらかじめ関係課と連携し、市で対応する手続きを1カ所で行うことができる。上記の2事業は、定例会一般質問や予算要望などで当会派がこ

れまで一貫して推進してきたもので、古河市公明党は今後も、住み良い街づくりを目指し全力で取り組んでまいります。



サポートコーナーで説明を受ける古河市公明党

### 真政会

新型コロナウイルス感染症が発生してから1年以上が経過したが、依然として終息が見通せない。ワクチン接種が終息への道筋となるよう期待する。

市の財政状況はコロナ禍の中で大変厳しいが、市民の負託に応える施策を実現していかなくてはならない。最大の懸案事項

は新市建設計画の実現である。合併から、はや15年、その結果が求められている。先導的プロジェクトの「(仮)南古河駅の設置」「筑西幹線道路の整備」「各交流拠点の整備」をいかに実現するかが、議会ならびに執行部に課せられた最重要課題である。

当会派は先般この問題を含め「未来産業基盤強化プロジェクト」「住友商事とのまちづくり構想」等々、そして第2次総

合計画の実施状況および進捗状況について、市長ならびに副市長とつづさに意見交換し、「華のある都市(まち)古河」の実現について協議した。



執行部との意見交換

## ～ 会派の活動を報告します ～

### 市民ベースの会

市民ベースの会では、古河市発展に資する産業用地の開発について研究をしています。

現在、古河市では茨城県が推進する未来産業基盤強化プロジェクトの指定を受けるための取り組みを行っております。その計画に、政府が推進する成長戦略の要でもある「データセンター

の整備」を加えられないかをさらに研究調査をしているところです。

データセンターは大規模な設備であることは言うまでもなく、多数のサーバーなどのIoT、ICT機器を集積する必要があり、1カ所当たりの投資費用は、数百億円にも上ります。

古河市の財政、特に今後の財源（税収）を考えたとき、単なる物流倉庫の誘致のみではなく、

固定資産税の償却資産分にも着目した企業誘致を行うべく、総合的な提言をしてゆきたいと思っております。



落合 康之 増田 悟  
倉持 健一 阿久津佳子  
長浜 音一 生沼 繁

### 会派に属さない議員

年間総括として、一般質問（毎回）【児童虐待・子どもの貧困・ヤングケアラー・コロナ禍の教育問題、森林伐採問題、

8050問題、老朽化空家・防災対策、外国人の諸問題】を取り上げた。また議案等への質疑は欠かさず、条例運用時の問題点を指摘できたことで、皆さまに託されたお役目を果たせたと感じている。特に、子ども関係の

3部【教育・福祉・健康推進】7課が、合同で貧困問題に関する勉強会を実施し、福祉行政の前進が見られたことも活動の成果であると考えている。今後も言論中心に活動をしていく。

（小山 高正）

### 会派に属さない議員

毎回一般質問で、政策の提案や市政について問題提起をしました。長引くコロナ禍により生活は一変し深刻な影響を及ぼし

ています。感染症対策と経済の両立、児童虐待・DV・自殺対策の強化、情報モラル教育の強化、自助努力を支援する施策を求め、委託料の適正、マイナンバー制度の問題点を問いました。いろいろな行事が中止となり自

粛が求められ、孤独になりがちなので、個別訪問などにより市民の皆さまの声を直接お聞きし対応させていただきました。毎朝通学路での立哨を通して子どもたちの見守りをしています。

（古川 一美）

### 会派に属さない議員

議会報告について、定例市議会の報告は、主に地元の「たけのこセンター」や「隣保館」で行っています。

内容は「議会報告と懇談会」として、1時間ぐらい議会報告をさせていただき、その後、市民の皆さまから、市政に対する質問やご意見などを伺っています。

（秋庭 繁）



議会報告会の様子

議員表彰

市議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会より4名の議員、茨城県市議会議長会より1名の議員が表彰されました。



全国市議会議長会  
 ≪議員在職 25 年表彰≫  
 渡邊 澄夫 議員  
 ≪議員在職 10 年表彰≫  
 青木 和夫 議員 秋庭 繁 議員  
 大島 信夫 議員



茨城県市議会議長会  
 ≪議員在職 25 年表彰≫  
 渡邊 澄夫 議員

◆◆◆ 令和3年 第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
9月 2日 (木)	本会議	開会、議案の説明
9月 3日 (金)	休会	議案調査
9月 6日 (月)	本会議	質疑、議案の委員会付託
9月 7日 (火)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
9月 8日 (水)	常任委員会	文教厚生常任委員会
9月 9日 (木)	特別委員会	決算特別委員会
9月 10日 (金)	特別委員会	決算特別委員会
9月 13日 (月)	特別委員会	決算特別委員会
9月 14日 (火)	本会議	一般質問
9月 15日 (水)	本会議	一般質問
9月 16日 (木)	本会議	一般質問
9月 17日 (金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

第2回定例会の傍聴者数

本会議	30人
委員会	3人
合 計	33人

※傍聴者数は延べ人数

議会の様子・会議録  
 を見てみよう!

古河市議会ホームページ、  
 または下記2次元コード  
 からご覧になれます。



議会中継



会議録

- 時間は午前10時からの開催予定です。
- 産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

今号より新たな議会だより編集委員会がスタートしました。市民の皆さまに、さらに開かれた議会になるよう、議会だよりを分かりやすく、見ていただける紙面づくりに努めてまいります。

新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでおりますが、市民の皆さまには、油断せず、予防対策をしっかりしていただき、安心安全な生活が戻るよう、さらなるご協力をお願いいたします。

委員長 小森谷 博之

【議会だより編集委員会】

- 委員長 小森谷博之
- 副委員長 鶴見久美子
- 委員 鈴木 務 稲葉 貴大  
 落合 康之 増田 悟

古河市議会事務局  
 古河市長谷町 38 番 18 号  
 ☎ 0280-22-5111 (代)



環境にやさしい植物油インキ  
 を使用しています